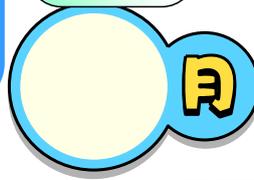




2025

熱海市立桃山小学校  
学校だより  
令和7年6月1日  
文責：中田健太郎



## 令和7年度学校教育目標

「夢に向かって、全力でチャレンジする子」

### 重点目標

「考え、判断し、行動する子」

「思いやりの気持ちを表現できる子」



夢講演会では、芦田さんの話  
真剣に耳を傾けていました。

## 自分と向き合う

校長 島野 聡子

本校では、キャリア教育の一環として、その道の達人を「夢先生」として講師に招き、夢について学ぶ授業を行っています。今年度は、パラ陸上競技の選手でリオデジャネイロパラリンピック銅メダリストの芦田創さんをお招きしました。



芦田さんは、5歳で右腕にデスマイド腫瘍を発症し、10年間の闘病生活を送ってきました。15歳のとき、右腕を切断するかどうかの決断を迫られましたが、陸上競技に打ち込む過程で奇跡的に病状が回復し、切断を免れたそうです。

午前中の体験活動では、速く走るための心構えや技法を教えてくださいました。午後は4～6年生を対象に講演会を行い、闘病生活の中で感じた葛藤や苦勞、スポーツを通じて「生きること」のすばらしさを再認識したこと、物事の捉え方しだいで人生が変わるということ子どもたちに伝えてくれました。障害をもった際に他人と比較して悩んだ経験を例に、他者と比較することの無意味さや、他者を羨んで自分を否定することの愚かさ、そして自分自身の経験や価値を大切にする意義を話してくださいました。また、自分の好きなことや得意分野を追求し、不足を補うのではなく既存の強みを磨くことが成功につながると語り、子どもたちは「誰にでも必ず強みがある」という芦田さんの言葉にとっても励まされたようでした。

少しですが、子どもたちの感想を紹介します。

- ・はじむ先生のお話の中で一番心に残ったことは「自分にしかないものを見つける」です。わたしは、まだはっきりと自分のよさがわからないけれど、きっとどこかにある、そう信じて毎日の勉強や運動をがんばりたいです。
- ・自分の悪いところに目を向けるのではなく、自分のもっているよいところに目を向けてそれを伸ばすことの大切さを学びました。
- ・わたしはすぐあきらめてしまうときがあります。これからそういうことがあったときには、はじむ先生のことを思い出してがんばります。

桃っ子には、自分も相手も大切にできる子になってほしいと願っています。「自分にしかないもの」を見つけるのは簡単ではないかもしれませんが、時間がかかっても、「自分にしかないもの」を見つけて大切に育ててほしいと思います。そんな桃っ子を、全力で応援していきます。



# SNAPSHOT【5月】



【夢先生】パラアスリートの芦田さんから、たくさんのことを学ぶことができました。



【なかよしタイム(縦割り活動)】高学年が活躍してくれました。

【不審者対応訓練】



今年度の音楽鑑賞教室は、ジャズバンド「JOY SWING COMPANY」の演奏を楽しみました。知っている曲に手拍子をしたり、楽器の演奏に挑戦したりと、音楽に包まれたすてきな時間を過ごすことができました。



5年生の総合的な学習の時間で「アースキッズチャレンジ」に取り組んでいます。体験や調査、調べ学習を通して、身の回りにある環境問題について考えました。自分たちの生活を振り返るよい機会となりました。

## 桃っ子まつり(紙コップアート)

今年度から、桃っ子まつりが春の開催となりました。下記の内容で開催いたしますので、ぜひご参加ください。

日時：6月6日(金)	10:25~10:30	開会式
	10:30~11:30	紙コップを使った創作活動
	11:30~11:40	閉会式

※今年度も、保護者の皆様に作品制作に参加していただきます。



## 【お知らせ・お願い】

- ・6月の校納金振替日は、6月27日(金)です。引き落としができますよう、残高確認をお願いします。
- ・5月30日(金)に、熱中症予防に関するお便りを配布しました。水筒などの持ち物や服装などについて詳しく書かれていますので、お子様と一緒に確認をお願いします。